

地域の“これから”を紡ぐ
リレーションシップせとうち観光専門職短期大学（仮称）
2021年4月開学 設置認可申請中

Report

観光とまちづくりを一体的に探究。
世界を視野に入れながら、
地域の持続的成長を支える人材を育てる

校舎予定地の旧高松テルサ。開学後も市民へ開放し、地域振興の発展に繋がる運営を目指します。



観光振興学科（仮称）学科長就任予定の安村克己。



開学準備が進む館内。既存設備を活かして環境を整備しています。

瀬戸内地域は、観光まちづくりを学ぶ格好の場所

2021年4月に開学するせとうち観光専門職短期大学（仮称）。同校が拠点とする香川県高松市は現在、観光をめぐるような状況にあり、同校は地域のなかでどのような学びを展開していくのでしょうか。学科長に就任予定の安村克己さんに伺いました。

「高松市や周囲を取り巻く瀬戸内地域は、特色ある歴史や文化、自然、地場産業が豊富なエリアです。地域のみなさんはそれらを活かしながら、今まさに、観光による地域振興に取り組み始めているところ。瀬戸内芸術祭や高松丸亀町商店街、小豆島のように、取り組みが成果をあげ、集客と賑わいにつながっている事例もあります。一方で京都をはじめとした日本各地の観光の事例を見ると、『オーバーツーリズム』とも言われる観光による弊害も議論されています。瀬戸内地域も、取り組みを始めた今だからこそ、オーバーツーリズムも視野に入れながら適正な観光やまちづくりを考えておく必要があります。それはすなわち、観光まちづくりを探究する本校にとって、この場所が研究テーマにあふれた地域であるとともに、本校の知見を十分に実践できる場所であることを意味します。」

観光による地域振興やまちづくりといえば、『人に来てもらう』というイメージがあるかもしれませんが、そのことはもちろん重要なのですが、オーバーツーリズムのように、人に来てもらったものの、弊害が起きて結局は地域が疲弊してしまうということがあります。それに対して、地域の暮らしと観光が両立する、持続可能な観光を実現することで地域を活性化するのが『観光まちづくり』です。同様な事例が、海外では1980年代頃から実践されています。『持続可能性』という言葉は近年のSDGsで認知度が高まりましたが、実は観光の分野においては早くからテーマになっていたのです。『人に来てもらう』観光の先にある、『持続可能な観光』を学ぶことが、本校の大きな特徴と言えます。」

地域と連携して活動する
「知の拠点」「交流の拠点」に

観光まちづくりに取り組む地元にとって、観光振興専門職人を育成する学校への期待は大きいと思います。地域とは、どのような連携を図る計画でしょうか。

「大学附属機関として、『せとうち観光学研究所』を設けます。この施設は、地元地域における『知の拠点』および『交流の拠点』として機能することをめざしています。具体的には、私たちが調査研究などによって蓄積した成果を、本研究所で開催さ

れる公開講座や共同研究などで地元へ還元していきます。この活動には観光に携わる事業者や行政機関、一般市民が広く参加し、交流を図ることで観光まちづくりの土壌を豊かにするという役割も持ちます。

当初の研究テーマの一つとして、『社会的受容限度』と呼ばれる、特定の観光地が無理なく受け入れ可能な人数を算出する方法の確立に挑む予定です。これは、瀬戸内の島々を舞台としたアートツーリズムを題材にして研究します。また、商店街の活性化も研究テーマの一つです。冒頭に触れた高松丸亀町商店街などを事例にしなから、ユニークな活性化の理念や手法を探りたいと考えています。観光まちづくりは世界的な課題です。世界に視野を広げて知見を得ながら、ここ高松や瀬戸内地域での取り組みを題材にして研究するのが、本校のスタンスです。すなわち、『Think Globally, Act Locally』というスローガンを大切にしながら、世界へと瀬戸内の事例を発信していきます。」

「自学自習の態度」を
備えたリーダーに

卒業生は地域創生をけん引するリーダーとしても期待が集まると思います。どのようなリーダーの育成を考えているのでしょうか。

「変動する社会状況のなかで的確に状況

を認識して問題を解決できる『思考力』と、その思考力に基づいた『実践力』『協働力』を身につけたリーダーを育成します。これら3つの能力の土台には、主体的で創造的な態度形成の基礎となる『人間力』が欠かせません。本校在学中に人間力を高められるよう、さまざまな取り組みを行う予定です。また、社会に出てからも学び続ける『自学自習の態度』も養ってもらいたいと考えています。

本校では、観光やまちづくりの実務経験が豊富な教員と、秀でた研究成果を持つ理論派の教員とをバランスよく配置しています。理論と実践の両面から観光振興を学ぶことで、卒業後は、観光産業や行政やNPOをはじめとしたまちづくりを担う組織での活躍が期待されます。学ぶことが盛りだくさんの3年間は、もしかすると大変かもしれませんが、その先にはしっかりと力をつけ、自分の力で人生を歩いていける“成長した自分”が待っているはずです。そんな自分に出会いたい、そのための力を身につけたいという、強い意志をもつ人の入学を期待しています。学生のみならずが本校での3年間を通して、観光振興専門職人として、そして人間力を備えた一人の社会人として成長することを楽しみにしています。」

せとうち観光専門職短期大学（仮称）

2021年4月開学 設置認可申請中

所在地 〒761-0113 香川県高松市屋島西町2366-1
TEL 087-899-7011
URL http://seto.ac.jp/